

- 《注》・下記製品は、“化学物質の安全性に係る情報提供に関する指針”における対象物質ではありません。従って、安全データシートの書式での情報提供は困難ですが、類似書式での情報として、次のとおり御報告申し上げます。
- ・下記情報は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。
  - ・注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
  - ・ここに掲載した数値は参考値であって、保証値ではありません。

制定 2019年8月8日

改訂 2021年4月1日

## 1. 製品及び会社情報

会社名 **タキロンシーアイ株式会社**  
住所 兵庫県たつの市揖保川町馬場1228-1  
電話番号 (0791)76-5556 FAX番号 (0791)76-5880  
発行部門 揖保川事業所 作成部門 技術グループ

製品名 : タキロンポリカーボネートプレート  
**PCSP 1700** (プラスチック板)

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : GHS分類基準に該当しない  
GHSラベル要素 : 該当しない  
注意喚起語 : 該当しない  
国／地域情報 : 適用法令は第15項参照。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
化学名 : ポリ(4・4'-イソプロピリデン-ジフェニルカーボネート)  
化学特性に関する情報 :

成分	含有量 (w t %)	化学式	CAS No.	(化審法) 官報公示整理番号
ポリカーボネート	98.0%以上	(C <sub>16</sub> H <sub>14</sub> O <sub>3</sub> ) <sub>n</sub>	103598-77-2	7-738
着色剤、その他	1.0%未満	記載なし	記載なし	記載なし
酸化チタン	1.0%未満	TiO <sub>2</sub>	13463-7	1-558

危険有害成分 : なし

## 4. 応急措置

- 目に入った場合： 板状の固体につき、該当せず。
- 皮膚に付着した場合： 取り扱い上での付着は問題なし。
- 吸入した場合： 板状の固体につき、該当せず。  
ただし、熱加工あるいは切断加工時に発生するガスを大量に吸入したときは、新鮮な空気のある場所に移動すること。喉、呼吸困難やその他の症状がでたときは、医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 板状の固体につき、該当せず。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤： 注水・水・泡消火器・粉末消火器等が使用できるが、水の使用が冷却効果の観点から望ましい。
- 消火方法： 一般火災と同様の消火方法を行なう。  
なお燃焼時には炭酸ガスの他に一酸化炭素等の有害なガスを発生する恐れがあるため、注意を要する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 板状の固体につき、該当せず。
- 環境に対する注意事項： 板状の固体につき、該当せず。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： 常温では引火のおそれはないが、作業場ではみだりに火気を使用しない。
- 保管： 直射日光の当たらない、熱・発火源から離れた水平な場所に寝かせて保管する。  
常温でも時間経過でクリープ変形する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：

成分	許容暴露濃度 (TLV-TWA)	提案機関
酸化チタン	10 mg/m <sup>3</sup>	米国産業衛生専門会議 (ACGIH)

- 設備対策： 板状物質で通常の手扱いは問題ないが、切断・熱加工等を行なう場合には、分解ガスがでるので、局所排気装置などを設置し換気をよくする。

## 9. 物理的及び化学的性質

外 観 等 : ホワイト色板  
臭 い : 無臭  
沸 点 : なし  
蒸 気 圧 : 無視しうる。  
揮 発 性 : なし  
融 点 : はっきりした融点は示さないが 240℃ 以上で流動する。  
比 重 : 1.1 ~ 1.2 (20 / 4℃)  
溶解度 水 : 溶解しない。  
溶 解 度 : 0.33 / ml (塩化メチレン中)

## 10. 安定性及び反応性

引 火 点 : 522℃ 以上<sup>1)</sup>  
発 火 点 : 550℃ 以上<sup>1)</sup>  
可 燃 性 : ポリカーボネート樹脂は消防法上、酸素指数約 26<sup>2)</sup> 以上の難燃性を有するものとして取り扱われる。  
発火性 (自然発火性、水との反応性) : なし  
酸 化 性 : なし  
粉じん爆発性 : 板状物質で問題なし。  
安定性・反応性 : 常温常圧で安定である。  
熱 分 解 温 度 : 約 380℃

## 11. 有害性情報

皮 膚 腐 食 性 : 知見無し  
刺激性 (皮膚、眼) : 乾燥、熔融時に発生するガスは、眼、皮膚を刺激することがある。  
感 作 性 : 知見無し  
急性毒性 (50%致死量等を含む) : 知見無し  
亜 急 性 毒 性 : 30 ~ 40 匹の雌雄ラットに、微粉化したポリカーボネートを 6% 含む粥状の飼料を自由に摂取させ、8 週間飼育した結果、体重の低下はなかった。血液像、X 線検査、病理解剖、臓器の組織検査の結果は正常であった。  
慢 性 毒 性 : 知見無し  
発 がん 性 : 発がんのおそれの疑い。空気中の酸化チタンの粉塵を吸入すると発がんする可能性がある。  
ACGIH 発がん性物質  
二酸化チタン (CAS 13463-67-7)  
A4 ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質  
IARC 発がん性評価モノグラフ  
二酸化チタン (CAS 13463-67-7)  
2B ヒトに対して発がん性がある可能性がある  
変異原性 (微生物、染色体異常) : 無し  
生 殖 毒 性 : (亜急性毒性と同様の試験で) 生殖機能は正常であった。  
催 奇 形 性 : 知見無し  
その他 (水と反応して有害なガスを発生する等を含む) : 無し

---

## 1 2. 環境影響情報

環境に悪影響を及ぼす製品ではない。製品は容易に生分解しない。

分 解 性 : 知見無し  
蓄 積 性 : 知見無し  
魚 毒 性 : 知見無し

---

## 1 3. 廃棄上の注意

埋め立てるときは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い、公認の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合にはその団体に委託してその処理をする。<sup>3)</sup>

焼却する場合は焼却設備を用いて、大気汚染防止法等の諸法令に適合した処理を施して焼却する。包装のダンボールは、ダンボール(紙)類として廃棄する。

---

## 1 4. 輸送上の注意

輸送に関する国際規制によるコード及び分類に関する情報 : 知見無し  
水平な運搬台に寝かせて積み、荷崩れ防止に注意する。

---

## 1 5. 適用法令

消 防 法 ( 危 険 物 ) : 非該当

労 働 安 全 衛 生 法 : 酸化チタン

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物

(第五十七条の二 施行令第十八条の二 別表第九)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

P R T R 法 : 非該当

廃 棄 物 処 理 法 : 産業廃棄物、廃プラスチック類に該当する。

---

## 1 6. その他の情報

樹脂メーカーの安全データシートを参考にしております。

### 【引用文献】

- 1) R.M.Asseva and G.E.Zaikov: “Combustion of Polymer Materials”  
Hanser Publishes, P. 46 (1986年)
  - 2) プラ工連ニュース No. 48、日本プラスチック工業連盟(1979年11月1日)
  - 3) 廃プラQ&A, 工業用熱可塑性樹脂技術連絡会(1992年)
-